


クラス	105	担当教員	にしむら かず ひこ 西村 一彦
			データを採って分析する
	著書・論文 研究課題等		技術, 資源, 環境, イノベーション

ゼミナール概要

キーワード： 調査, 分析, 統計, 英語

目的, 内容, 方法等：

経済学には理論と実証の 2 つのアプローチがあるが、本ゼミナールでは、実証研究を中心としたアプローチを修得することを学習目標としている。

最終的にはテーマにしたがってデータを採取することが重要である。テーマは学生の興味や時勢に即したものを選ぶが、これまでは、ため池の魚類調査、あるいはタイ紅茶やウェイツフルボールなど、科学的マーケティングの手法に基づいたものを扱ってきた。

これらのデータの分析には、統計的手法の理解が不可欠であり、2年・3年次では統計学の習得が主な課題となる。英語の文献から知識を得ることにより、数量分析の知識とともに英語の習得も目標とする。

授業計画：

2年次は、英語で書かれた統計学の教科書で学びます。毎回、担当箇所が決められ、各自が報告します。3年次も、基本的には英語の文献の講読ですが、内容は経済学・経営学に関するものになります。4年次は、各自のテーマでデータ採取・分析を行い、卒業論文を書きます。(卒論は日本語で可)

	担当教員からのメッセージ
後日指定します	<p>アルバイトや部活を優先する者は歓迎しません。</p> <p>英語が不得手な人は苦労すると思いますが、英語の文献は、たいてい非常にわかりやすく書かれています。英語も数学も一度に両方できて、一石二鳥なのではないでしょうか。</p>